

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 多機能型支援事業所すてっぷ（放課後等デイサービス） | | | | 公表日 | 令和 7年 12月 24日 |
|---------|----|--|----|-----|---|---|---------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | | ○ | 状況に合わせて部屋を変えたり、分けて過ごしている。 | ・平日は適切だと思うが、土曜日や祝日に関してはスペースが足りないと感じることがある。 ・室内の整理整頓を行っていく。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 状況に応じて職員が臨機に対応を行っている。 | 平日は職員が足りているが土曜日や祝日は足りないと感じることもある。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 視覚的に提示を行ったり、高い段差などがある際はステップ台や滑り止めをして対応を行っている。 | 手すりなども検討していきたい。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 掃除や消毒を行う様になっている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 集中して取り組めない児童には別室を提供したり取り組みやすい環境づくりをしている。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | 評価はとれているが改善まで取り組めていない事があるので、そこを課題にして取り組んでいく必要がある。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 要望があった際には改善につなげられる様になっている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 職員の仕事量なども見ていながら必要に応じて現場に入るようにしている。 | 職員の負担軽減が出来るように努力していきたい。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | 相談支援員などからの話を参考にしている。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 法人内にて月に一回の内部研修を行っている。 | 専門的な研修があった際には参加していきたい。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 利用児の特性に合わせてるように計画立案を行っている。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 職員から出た意見を計画書へ入れている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | ミーティングやモニタリングにて確認している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | その子に必要な課題を検討し計画書に記載している。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 職員間で決めるようにしている。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 固定化を感じる事もあがるが同じ内容でも中身の工夫を行っている。 | | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | ・小集団での活動参加が難しい時には個別での対応、時間がとれる様にしている。 ・学年や年齢によって活動の内容を変えている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | その日の利用児の状態や連絡事項などは朝礼の際に打ち合わせが出来ている。 | 今後は活動の役割分担まで話を決めていく必要がある。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | ・その日の利用児の変化に気付いた際は話を行う様にしている。 ・支援終了後に話を行う事が難しい際は次の日に話を行う事もある。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | 毎日の支援記録はとっている。 | 現状は改善まで出来ていないので今後は改善点へと繋げていけるようにしていきたい。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | 更新の際に必要なに応じて課題の見直しを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | ○ | コミュニケーションや生活習慣での訓練は取り入れるようにしている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | 場面によって子供たちに選択肢を与え、自分で決められるようにしている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | 現場での意見や様子をまとめて児発管が参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | 送迎の際に変わりがなかったか、最近の様子の確認を行っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | 更新時や担会、ケース会議の際に情報共有を行っている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | 相談支援員や会議を通して情報の共有を行っていききたい。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | 現状、交流などは出来ていない。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | 今後、機会があれば参加していきたい。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | ・送迎時にその日の様子を伝えられるようにしている。 ・必要に応じて連絡帳の活用を行っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | 保護者様から相談があった際には助言を行う様にしている。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | 要望があった際は返答を行っている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|--------------------------------------|-------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 現状は行えていない。 | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 判断が難しい時には上司に相談を行い、助言をもらい対応を行っている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | ホームページやブログにて発信を行っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 関係機関以外には情報を言わないようにしている。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 視覚的に掲示したり、連絡帳にて通所中の様子をお伝えしている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 地域住民の方々との関りはなかなか持てていない。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 年に2回避難訓練を実施している。 | 改めて周知が必要なマニュアルに関しては確認を行ってきたい。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 非難グッズの準備は行えている。 | 火災訓練以外にも訓練を行っていく必要がある。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 現状はアレルギーがある児童はいないが、今後必要であれば対応していきたい。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 柱など危ない箇所にはクッション材を張っている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 緊急連絡先の確認はしている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | ミーティング内にて防止策の話し合いを行っている。 | 全職員へ共有していく必要がある。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 虐待防止の研修を受講した職員から内部研修を受けている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | | |